

2020 年度  
学校関係者評価報告書

2021 年 7 月

学校法人八文字学園



水戸電子専門学校

## ◆2020年度 学校関係者評価報告書

学校法人八文字学園水戸電子専門学校は、学校評価に関する関連法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、「2020年度自己点検評価報告書」（2021年2月作成）を基本にした学校関係者評価を実施しました。自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこなっていただき、自己評価結果の客観性・透明性を高める努力をしています。並びに卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局と密接に関係する方々の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ります。

今後とも、この学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、更なる教育の質の向上を図ってまいります。

1. 対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日

2. 学校関係者評価の項目（以下の11項目）

- (1) 教育理念・目的
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

3. 学校関係者評価委員

中井 英一	茨城大学理学部教授
島田 裕之	茨城大学教育学部教授
掛田 達也	一般社団法人 茨城県情報サービス産業協会 理事（卒業生）
大森 達也	アイ・イー・シー株式会社 取締役 ソフトウェア事業部 本部長
武井 篤	株式会社 新日東 営業部
坂 大樹	茨城県デザイン振興協議会 副会長
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ
三瓶 哲也	J P C株式会社 代表取締役
広木 公	株式会社 近宣 水戸支店 支店長（卒業生）
佐藤 有宣	佐藤畳店（地域住民）
川上 典夫	川上陶器店（地域住民）
山田 真起子	介護福祉士（地域住民）

八文字学園教員

八文字和宏 助川正己 相田慎介 橋本克之 平松浩幸 石田秀郎 小田典英

## 4. 学校関係者評価について

### 1. 学校関係者評価委員会の実施状況

#### 1) 学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：2021年3月26日（金）

場所：八文字学園 水戸看護福祉専門学校 1F 会議室

#### 2) 学校関係者評価委員会 進行状況

(1) 事務連絡（挨拶、配布資料確認）

(2) 学校関係者評価全体説明

(3) 評価方法説明

(4) 学校関係者評価委員会開始

自己評価結果の解説とその評価 …… 評価結果の判定（評価シート記入）

○教育重点項目

○教育理念・目的・育人人材等

○学校運営

○教育活動

○学修成果

○学生の募集と受入れ

○財務

○社会貢献

○国際交流

(5) 学校関係者評価の総評と意見交換

### 2. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

専修学校における学校評価ガイドライン』に則って、2020年度における「評価項目の達成及び取組状況」について、委員会では、委員により、自己評価報告書 の内容及び、自己評価結果を理解していただいた上で、評価ポイント（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）の4分法にて評価を行なっていたが、その理由や意見を「学校関係者評価委員会 評価記入シート」のコメント欄に記載しました。最後に、評価項目や学校・学科の改善に関する学校関係者委員の自由意見を聴取しました。1～11の項目評価は、委員の評価の平均値となります。

### 3. 学校関係者評価報告書の見方

#### 1. 自己評価結果の結果集計

学校関係者評価委員 8 名が記述した評価記入シートより、評価基準の「適切」記入数、「不適切」記入数を集計しパーセント表示した。

#### 2. 委員コメント

評価記入シートの委員コメント欄に、学校関係者評価委員が直接記入したコメントを項目毎にまとめた。

#### 3. 分科会の意見

分科会で意見交換された内容や、具体的な学科に対する意見・改善提案を議事録「学校関係者評価委員会分野別分科会」にまとめた。

◆ 1 教育理念・目的 3.75 評価

---

1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
2. 学校における職業教育の特色を示しているか
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
4. 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
6. 各学科の基本方針、学習目標、資格の合格目標は達成されているか

<コメント>

- ・社会人としてぜひとも、人間力の育成は不可欠です。
- ・実践的な職業教育を行うには、中長期的構想が必要です。
- ・理念に沿った教育が提供されている。

◆ 2 学校運営 3.13 評価

---

1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか
2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
3. 運営組織や意識決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
4. 人事、給与に関する制度等は整備されているか
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
7. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

<コメント>

- ・Work flow system の導入により、事務作業の簡略化が可能になっています。
- ・人事、給与に関する制度等が不明瞭な点がある。
- ・財務上、借り入れもなく健全経営されていると感じる。

◆ 3 教育活動 3.13 評価

---

1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
5. 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

- 10.資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 11.人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 12.関連分野における業界等と連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
- 13.関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や指導力育成など、教員の資質向上のための取組が行われているか
- 14.職員の能力開発のための研修等が行われているか

<コメント>

- ・IoT やドローンなど積極的に新しい技術を実習として取り入れている努力が窺えます。
- ・卒業研究の成果を公開（学外）していることは評価できます。
- ・学生の二極化について、学生のレベルや資質に対して丁寧に対応していると点については、学生個々に合わせた指導が適切に実行されていると感じました。
- ・時代に即したカリキュラムおよび施設の充実に一層努力願いたい。

◆ 4 学修成果

3.38 評価

- 
- 1.就職率の向上が図られているか
  - 2.資格取得率の向上が図られているか
  - 3.退学率の低減が図られているか
  - 4.卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか
  - 5.卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

<コメント>

- ・情報処理の国家試験対策については、午前免除制度を利用し、十分な対策時間をとっているようなので、基本情報技術者の合格率の向上を期待したいです。
- ・いろいろな学生委が入学してくる現状は理解できるが、退学率の低減をはかる必要がある。

◆ 5 学生支援

3.50 評価

- 
- 1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか
  - 2.学生相談に関する体制は整備されているか
  - 3.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
  - 4.学生の健康管理を担う組織体制はあるか
  - 5.課外活動に対する支援体制は整備されているか
  - 6.学生の生活環境への支援は行われているか
  - 7.保護者と適切に連携しているか
  - 8.卒業生への支援体制はあるか
  - 9.社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
  - 10.高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

<コメント>

- ・奨学金を利用する学生の割合が 1/3 を占めており、かなり高い比率となっている。
- ・学生支援機構の奨学生制度を利用する学生の返済額の多さに対応する是正措置は講じているのか。
- ・学生への健康面への支援体制として、定期的な結核健康制度だけでよいのでしょうか。
- ・学生の精神面に対応するべく、スクールカウンセラーの配置がなされている。積極的な活用を期待したい。

◆ 6 教育環境 3.25 評価

---

- 1.施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 2.学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか
- 3.学生が自主的に学習するための環境が整備されているか
- 4.防災、防犯に対する安全管理体制は整備されているか

<コメント>

- ・学校の教育設備、施設に関しては、定期的に機器等を確認し教育内容に沿って整えられています。
- ・新しい技術・メディアセンター施設・自習室や教育機器設備を導入してもらいたいので検討していただきたいです。
- ・災害時の心構え・命をまもる行動など、定期的な防災訓練、被災時の水・食料の備蓄等も進めていただきたいです。
- ・新型コロナウイルス感染症に対応した、リモート環境（ムードル）が構築されていることは評価できる。

◆ 7 学生の受け入れ募集 3.29 評価

---

- 1.学生募集活動は、適正に行われているか
- 2.学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 3.学納金は妥当なものとなっているか中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

<コメント>

- ・学生の募集広報活動における内容や説明表現については、十分な注意を払うとともに、入学希望者に対して分かりやすく最新で、適切な判断材料が提供されるように配慮されています。
- ・オープンキャンパスやバス見学会、高校ガイダンスなど非常に多い回数を計上している。入学予定者数から鑑みて適切な対応により効果がうかがえる。

◆ 8 財務 3.75 評価

---

- 1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 3.財務について会計監査が適正に行われているか
- 4.財務情報公開の体制整備はできているか

<コメント>

- ・財務諸表を拝見すると、現在、安定した財務基盤となっている。
- ・監査法人の監査や、内部監査が適正に行われており評価できる。

◆ 9 法令等の遵守 3.43 評価

- 
- 1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
  - 2.個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか
  - 3.自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
  - 4.自己評価結果を公開しているか

<コメント>

- ・自己評価結果についても、適切に公開している。また、コンプライアンスについても十分に順守されている。

◆ 10 社会貢献・地域貢献 3.00 評価

- 
- 1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
  - 2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
  - 3.地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

<コメント>

- ・奉仕の精神、道徳心を養うことを目的に学校周辺の清掃活動が定期的に行われており、積極的に地域の良い環境づくりにかかわりを持っていただきたい。
- ・ボランティア活動は、学生が個別に実施しているようですが、組織的な取り組みを期待する。
- ・学校として各組織と連携したボランティア活動の構築を期待する。

◆ 11 国際交流

---

（・留学生の受け入れは、行っていないし、国際的に提携している学校ありません。）

◇学校関係者評価委員会 まとめ 総合評価 3.36 と【ほぼ適切】という評価を受けた。

学校関係者の評価の実施、公表により、適切に説明責任を果たすとともに、関係する企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民による理解と参画を得ながら、企業、業界団体、卒業生、保護者、地域住民の連携協力による学校づくりを進めていきます。

## ● 『コロナ禍での学校の対策について』の討論会

### 対策として

1. 対面授業と同じカリキュラムを実施し、3密回避策を説明し、感染対策を意識した学園生活と検温観察と指導
  - ・教室の3密対策
  - ・別建屋の教室を利用して分散化また、机上のパーティションの設置 ・5F 講堂の活用
  - ・対面しないグループワーク ・フェイスシールドを配布
2. 授業日数の確保
3. LMS の導入

### ※質疑応答

#### ①オンライン授業のメリット、デメリットは? :中井

相田 T

メリット:コンテンツを配信したことで学生が自分のスケジュールに合わせて、繰り返し学習できる環境ができた。

デメリット:意欲の無い学生は見てくれなかった。対面授業開始時点で差がついてしまった。

反省:アウトプットを出させることが必要。

石田 T

デメリット:環境設定に戸惑いがあり、慣れに時間が必要であった。また、途中で回線が切れてしまい授業が中断となる。学生に差が出てしまい、対面授業で繰り返し。

メリット:出張等での不在時に活用することで授業日数を減らさず授業を進められた。

#### ②昨年意欲の無い学生がオンラインで意欲が出たかは何の違いがあるか:坂

相田 T:学生の資質も要因。オンラインになって質問が多くなった学生がいる。また教師のオンライン授業のやり方/進め方も大きいと考える。

#### ③共有 PC から感染した事例があるがその点はどうしているか:大森

相田 T:毎日の PC 除菌を、教室入口での除菌スプレを配置し回避した。

### 3. 学校、企業におけるコロナ禍の現状と対策について

#### ①茨城大学教育学部での状況:島田

- ・講義形式は基本はオンラインで 5 月より実施。
- ・90 分を 100 分に増加させて 15 週を 13 週で実施。とはいえ対面と比較し通常の 80%程度しか進められなかった。
- ・前期はオンラインのみ。
- ・設備の無い学生の為に、大学の教室にオンライン授業設備を準備した。
  - ・実習形式は 10 月から対面授業を開始。
  - ・各学生がどこで授業を受けたかを 10 月から記録を開始。
  - ・コロナ第三波対応は未だ未定。

#### ②茨城大学理学部での状況:中井

- ・前期はオンライン授業が基本。
- ・卒業研究は 1 回/週で対面とした。
- ・夏休み明けより基本は 1 回/週、対面。
- ・教室座席率は 50%以下とした。
- ・試験は教室で実施。
- ・オンラインのメリット
  - 準備した資料をダウンロードするので話に集中できる。

デメリット

書かないことで理解度が落ちたように感じる。



③会社での状況:掛田

- ・常駐者は常駐先の基準で毎日出社している。
- ・自社ではオンラインとリモートの併用。
- ・リモートでの仕事の仕方を検討中。
  - ・リモートのメリット:通勤がない。デメリット:コミュニケーション会議が増加した

④会社での状況:大森

- ・執務室の利用率 50%。
- ・顧客打ち合わせは 80%~90%はリモート。
- ・発熱時は 2W 自宅待機。
- ・行動履歴を残す。
- ・メリット:出張削減。資料を準備することで質が上がった。
- ・デメリット:コミュニケーションが減った

デザイン系会社での状況:坂

- ・比較的スムーズに作業は進められている。
- ・リモートとなりアイデアがたくさん出るようになった。

会社(営業)での状況:広木

- ・現状では、以前の仕事の仕方に戻っている。
- ・コロナの状況を見ながら行先は注意しながら外回りを行っている。
- ・リモートは基本的に行っていない。

会社(営業)での状況:武井

- ・顧客のオンライン/リモートの IT 対応を進めている。

---

---

学校法人八文字学園 水戸電子専門学校  
〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-20

---

---